

武州工業株式会社

企業概要

| | | | |
|------|--|-----|---------|
| 設立 | 1952年 | 資本金 | 4,000万円 |
| 所在地 | 本社：青梅市 新町サテライト工場：青梅市 村山倉庫：武蔵村山市 | 業種 | 製造業 |
| 代表 | 代表取締役 林 英夫氏 | | |
| 従業員数 | 160人（うち女性44人） | | |
| 事業内容 | 自動車用金属加工部品 板金、プレス、樹脂加工、自動制御機械製作、医療・介護機器製作、知育玩具制作 等 | | |



<ポイント>

○会社の取組

- ・女性が働きやすい環境づくり（ロッカー・トイレの整備）
- ・パート社員の正社員化推進
- ・職人技の早期習得により、従業員個人の自信ややりがいにつなげる
- ・従業員の背景や状況を考慮した人材配置
- ・時短正社員制度、定時退社デーなどにより、従業員の仕事と家庭の両立を推進

○従業員からのメッセージ

技術を持った女性が今後活躍していくことで、ものづくりの幅をより広げることが可能

企業の取組

取締役 林 英徳 氏



技能系女性従業員の採用および退職状況

数年前、医療機器製造において人員が必要になり、多くの女性をパートとして採用しました。以来、一定の成果が得られたことにより、パート採用者の正社員化という新たな潮流が生まれました。

また、長年続けてきた高卒者採用に加え、3年ほど前から大卒者採用を開始しました。

当社は製造業ですので、まずは製造現場での経験を通してものづくりの基本的な考え方や会社の本来のミッションを捉えた後に、希望するキャリアの方向性にシフトしてほしいと考えています。

2年前の新卒者は全4名が文系の女性で、うち1名は管理部門へ転属していますが、他3名は技術職として在職しています。

採用に向けた活動としては、インターンシップや工場見学会の実施、大学の就職関連イベントへの参加など、中小製造業の魅力についてなるべく外へ向けて発信するよう心掛けています。

技能系女性従業員の活躍推進

当社では、職域に関して常にオープンで、女性だからこれではできないという表現はしていません。

現在、当社の各製造拠点で、のべ40名の女性が技術職として在職しています。なかでも女性の割合が大きいのは、医療機器の取扱いをメインとしている（新町）サテライト工場です。

自動車部品の取扱いをメインとしているチームでは、重作業が多いことや設備の特性上の理由もあり、割合として女性はまだまだ多くはありません。

女性技術者は相対的に、手作業や検品といった細やかな作業に適性があり、日々、様々な気づきを持ってきてくれます。また、粘り強く、根気がある作業も得意で、多様な視点で捉えることにも長けていると言えます。

一方で、現実主義ともいえる傾向にあり、“今”何に取り組むかに集中しがちで、長期的な計画や未来像のイメージ共有が難しいと感じることもあります。

今後、女性のプロジェクトリーダーが増えていくことが予想されますが、この点の打開が課題になってくるでしょう。

技能系女性従業員の定着に関する取組

2013年のサテライト工場施工に際して、女性用ロッカーやトイレなどを完備しました。スペースを広く、数も不足のないよう設置し、ピンクや白の配色で統一することで過ごしやすい空間づくりを心掛けました。

各作業場では、机の高さや工具、設備を、できるだけ女性に適したサイズや重さに変更しています。

子育て中の従業員も多く、10名が9時から16時半の時短勤務制度を利用しています。

従業員の心理的なサポートや両立に対する理解が必要だと考えており、配属に関しては、できるだけ同じようなバックグラウンドを持

つ従業員を、リーダーや近くに配置するように気をつけています。特定の相談窓口は今のところありませんが、働いているなかで困っていることは上長に相談し、プライベートの悩みは社内で気を許せる人に相談できるという環境があると思います。

また、“社長ポスト”という、困っていることや提言について投書（匿名・記名可）できる箱を設置しています。その名の通り、内容は社長のみが確認でき、改善や措置が必要と思われるものについては社長や関係部署を含めて検討が行われます。

キャリア支援に関しては、誰もかもに支援していくというよりは、本人に“伸びる意志”があつてこそ、その意志と会社のサポートが両輪となって進められていくものだと考えています。ただし、全体としてはやはり男性が多い環境で、まだ自分にリーダーは務まらないと考える女性従業員が多いのが現状です。新たなリーダー候補やロールモデルの育成についても、今後力を入れていかなければならないでしょう。

自社の取組

時短正社員制度に加えて、現在、水曜の定時退社を実施しています。

また、一日8時間・月20日稼働の「8.20体制」を、本年の大命題として掲げています。

人数や時間に負担をかける旧来の人海戦術的だった体制を、設備等に余裕を持たせることで解消し、皆が早く帰れる環境をつくることで、従業員の仕事と家庭の両立につながると考えています。

・他社に誇れる取組

技術習得に関しては男女共通で、OJT中心のプログラムを実施しています。

新卒者は入社直後、製造現場において、作業の中でも最も“カンとコツ”を要する作業を経験してもらいます。こうした作業を“職人技”

のままにさせておけば、伝承が絶たれてしまうというのが理由のひとつです。一方で、入社間もなくとも一番難しい作業ができたという経験が、“やってできないことはない”という気持ちを芽生えさせ、その人にとっての成功体験やその後のやりがいにつながっていく、ということも大きな理由です。

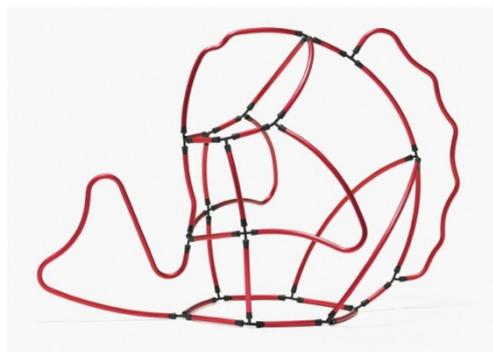
今後業界で女性がもっと採用され、活躍していくために必要なこと

中小ものづくり業界全体のイメージアップが重要ではないでしょうか。業界PRのための記事や冊子などで情報発信される機会も多いと思いますが、各企業とも実状との乖離がないように、様々な整備を進めていく必要があると考えています。

業界への就職を検討している女性へのメッセージ

ものづくりの業界は他業界と比べて未開拓な部分も多く、まだまだ女性の力が活かせる分野がたくさんあると思っています。

また、ファミリー企業の良さや周囲の顔を見ながら仕事ができるといった点も、中小企業ならではの魅力ではないでしょうか。そういった部分を踏まえ、どうか積極的に製造業に興味を持っていただければと思います。



「パイプグラム」アルミ製パイプをジョイントを用いてつなぎ合わせ、様々な立体を組み立てる知育玩具。2014年「グッドデザイン賞」受賞。自動車部品や医療機器の制作など、企業間取引事業に加え、自社ブランド商品の製造・販売という新たな分野にもチャレンジしている。

従業員の声

入社3年目 堀さん

担当している業務:自動車用部品の製造(自動機の操作や加工作業)



入社したきっかけ

元々車が好きだったため、就職も当初はディーラーなどの車業界を志望していましたが、多摩地区の合同説明会に参加した際に当社の説明を聞く機会があり、ものづくりに興味を持ちました。

現在の仕事内容

入社以来、自動機の操作や加工作業により、自動車部品の製造をしています。

文系出身で、機械のことを何も知らずに入社しましたが、先輩や上司の方々がひとつずつ教えてくれたことで、現在の作業ができるようになりました。不良品を出さないことや、生産計画通りに生産できることに達成感を感じます。

現在のラインでさらに技術を高め、他の機械も操作できるようになりたいと思っています。

働く環境

自動車部品のチームで製造を担当している女性は、私を含めて2人です。

自動機のトラブルなどがあれば、まずは自分で直せる範囲で調整を行い、その後は周囲からアドバイスをもらいながら直していきます。不具合の原因がわからない場合は、上司も含めて皆が集まって解決しようとしてくれます。

社長は機械の様子を見ながら現場をよく回られています。従業員のこともとても気にかけてくださるため、近くに感じることができます。

今後、結婚や出産を迎えた際にも働き続けたいと思っていますので、妊娠期の作業環境対応や出産・育児に際して利用できる制度など、事前に知る機会があるといいと思います。

教育・研修と今後取り組みたいこと

入社後2カ月ほどの研修期間では全班を回り、溶接など様々な作業を経験しました。

そのほか、月に1回ほど、同期のメンバーと色々な課題を話し合う機会があります。例えば不良品対策についてなどです。

同じような用途でも、機械によって仕様が全く違うこともあり、欠員時のカバーなどが難しいこともあります。今後も周囲の方に色々教えていただきながら、自分でできることをもっと増やしていきたいです。

女性の強み・弱み

女性の方が細かい部分に気づくことが多いため、検査などに向いていると思います。反対に、力仕事に対しては、周囲のサポートがなければ弱い部分もあると思います。

今後の女性活躍

・今後この会社で女性が活躍していくために必要なこと

技術を必要とする作業が多く、短期間での増員が難しいこともあって、生産が集中した際などは労働時間も増えがちになります。

現状、子育て中の社員には周囲が配慮していますが、制度利用なども含めて早く帰れる仕組みがあるといいと思います。

・今後社会で女性が活躍していくために必要なこと

技術職は男性の割合がとても多いですが、女性だから女性らしい仕事を、というのではなく、男女関係なく同じ作業ができるようになることで、ものづくりの幅はより広がっていくのではないのでしょうか。

会社・業界の良いところ・魅力

男性が多い職場の場合、話しづらい、相談しづらいと思う方は多いと思いますが、男性が多いからこそ頼れる部分もあります。

職場では面倒見のいい方もたくさんいらっしゃるので、何でも気兼ねなく話すことができます。また、全体的に仲が良く、他部署の方や同期にいつでも相談ができる環境があります。

実際に入社したことで、以前持っていた“工場＝暗い”というようなイメージは払拭されました。当社では、溶接など様々な技術を持っている女性がいますが、女性で技術を持っている先輩はとてがかっこいいと思います。

